

令和7年度工学部総合型選抜の変更点について

1 出願要件の追記について

出願要件②の「主体的な活動」の内容について、具体例を追記しました。なお、本変更は記載の具体的な内容に関する説明の追加を意図したもので、現行の出願要件の内容を変更するものではありません。本変更は、現行の学校推薦型選抜Ⅰ型の出願要件②～⑤の定員を総合型選抜へ移動することに伴い、現行の学校推薦型選抜Ⅰ型の出願要件②～⑤を満たす志願者が、現行の総合型選抜の出願要件②を満たすことを明示するための変更です。（詳細は「令和7年度工学部特別選抜における定員の移動について」をご覧ください。）

変更前（令和6年度まで）
出願要件 令和●年3月高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）卒業見込みの者（（注）の者を含む。） 及び令和○年度中に高等学校又は特別支援学校の高等部を卒業した者で、次の各号に該当するものとします。
① 人物・学業成績がともに優れ、工学の学習に熱意のある者
② 高等学校等の内外において主体的に活動を行い、その経験を通して獲得した実力・能力を自ら推薦できる者
③ 英語の外部検定試験を受検し、別表に示すスコア・級以上の成績を修めた者又は高等学校等在学中に履修した英語に関する科目の日常の授業における学習状況や試験の成績等から総合的に評価した結果、別表に示すスコア・級以上の成績に相当する英語力があると学校長が認めた者
④ 合格した場合は、入学することを確約できる者



変更後（令和7年度から）
出願要件 令和●年3月高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）卒業見込みの者（（注）の者を含む。） 及び令和○年度中に高等学校又は特別支援学校の高等部を卒業した者で、次の各号に該当するものとします。
① 人物・学業成績がともに優れ、工学の学習に熱意のある者
② 高等学校等の内外において主体的に活動（例：課題研究、総合学習、課外活動、専門教育プログラムや科学系コンテストへの参加、芸術・スポーツ活動、その他）を行い、その経験を通して獲得した実力・能力を自ら推薦できる者
③ 英語の外部検定試験を受検し、別表に示すスコア・級以上の成績を修めた者又は高等学校等在学中に履修した英語に関する科目の日常の授業における学習状況や試験の成績等から総合的に評価した結果、別表に示すスコア・級以上の成績に相当する英語力があると学校長が認めた者
④ 合格した場合は、入学することを確約できる者

2 募集人員の変更について

総合型選抜の募集人員を工学部全体で27名から30名増員し、57名とします。本変更は、現行の学校推薦型選抜Ⅰ型の出願要件②～⑤の定員を総合型選抜へ移動することに伴い、募集人員を増やすものです。選抜方法と各主専攻プログラムの専門分野や特色との適合性を考慮し、各主専攻プログラムにおける募集人員を定めました。（詳細は、「令和7年度工学部特別選抜における定員の移動について」をご覧ください。）

変更前（令和6年度まで）		
学科	主専攻プログラム	募集人員
工学科	機械システム工学プログラム	4人
	社会基盤工学プログラム	2人
	電子情報通信プログラム	4人
	知能情報システムプログラム	3人
	化学システム工学プログラム	4人
	材料科学プログラム	3人
	建築学プログラム	2人
	人間支援感性科学プログラム	2人
	協創経営プログラム	3人
	合 計	



変更後（令和7年度から）		
学科	主専攻プログラム	募集人員
工学科	機械システム工学プログラム	7人
	社会基盤工学プログラム	4人
	電子情報通信プログラム	7人
	知能情報システムプログラム	7人
	化学システム工学プログラム	7人
	材料科学プログラム	5人
	建築学プログラム	3人
	人間支援感性科学プログラム	14人
	協創経営プログラム	3人
	合 計	

3 選抜方法の変更について

現行では面接の中で課していた基礎学力に関する試験の形式を、より客観的な評価を可能とするため、筆記試験形式に変更します。筆記試験の科目を工学部共通で「数学」とし、出題範囲を工学部共通で「数学 I, 数学 II」とします。幅広い受験生が専門分野への興味に応じた主専攻プログラムに申しやすい選抜方法とするため、筆記試験の科目および出題範囲を工学部共通としました。また、面接においては勉強意欲についても評価するとともに合格者へ入学前課題を課すことから、総合型選抜の主旨を鑑み、出題範囲を特に基礎的な範囲に限定しました。さらに、筆記試験形式への変更に伴い、配点区分の記載について、「面接(適性)」を「面接」に、「面接(基礎学力)」を「基礎学力試験」に変更しました。

変更前 (令和 6 年度まで)						
選抜方法 大学入学共通テストを免除し、書類審査、小論文及び面接での評価を総合して行います。 なお、各主専攻プログラムについて入学志願者数が概ねの募集人員の2倍を上回る場合は、当該主専攻プログラムにおいて2段階選抜を実施することがあります。						
① 配点						
学科	主専攻プログラム	書類審査	小論文	面接		合計
				適性	基礎学力	
工学部	全ての主専攻プログラム	100	100	100	100	400
上記の配点で、合計点が240点以上である者(ただし、基礎学力の評価が60点に満たない者を除く。)を対象に合格者を決定します。						
⑤ 面接 (基礎学力)						
学科	主専攻プログラム	口頭試問の内容				
工学部	機械システム工学プログラム	数学				
	社会基盤工学プログラム	数学				
	電子情報通信プログラム	数学				
	知能情報システムプログラム	数学, 英語				
	化学システム工学プログラム	化学, 英語				
	材料科学プログラム	数学, 英語				
	建築学プログラム	英語				
	人間支援感性科学プログラム	数学				
協創経営プログラム	数学					



変更後 (令和 7 年度から)						
選抜方法 大学入学共通テストを免除し、 基礎学力試験 、書類審査、小論文及び面接での評価を総合して行います。 なお、各主専攻プログラムについて入学志願者数が概ねの募集人員の2倍を上回る場合は、当該主専攻プログラムにおいて2段階選抜を実施することがあります。						
① 配点						
学科	主専攻プログラム	書類審査	小論文	面接	基礎学力試験	合計
工学部	全ての主専攻プログラム	100	100	100	100	400
上記の配点で、合計点が240点以上である者(ただし、基礎学力試験の評価が60点に満たない者を除く。)を対象に合格者を決定します。						
⑤ 基礎学力試験						
学科	主専攻プログラム	筆記試験の内容				
工学部	全ての主専攻プログラム	数学				